

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	豊栄児童センター		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区東栄町2丁目14番26号		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積2094.87㎡ 建築面積612.26㎡ 延床面積519.15㎡物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容） ・ ボランティア室（28.60㎡） ・ 集会室（38.22㎡） ・ 図書と映像の部屋（30.16㎡） ・ 体育遊戯室（191.40㎡） ・ 創作の部屋（38.58㎡） ・ 事務室（31.83㎡） ほか		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
（１）地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。 （２）児童がいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、児童に健全な遊びや情報の提供を行う。 （３）中学生・高校生については、ボランティア活動など、目的をもった活動の育成・支援を行い、地域社会と協力連携しながら、社会的活動の拠点としての機能を有する施設とする。 （４）大型児童センターとして、北区全体の児童が参加できる事業を盛り込んだ運営を行う。

平成30年度

視点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。イベントや行事等について北区全体からの参加があるか。	・年間利用者数 27,552人 (うち児童数) 20,384人	A	年間利用者は前年度比増。北区全地域から参加。
	広報	ホームページやセンターだより等で行事等の情報提供がされたか	児童センターだよりを毎月HP掲載と発行をした。北区内小学校全児童へ配布。	B	紙面の配布及びHP掲載により周知に努めている。
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	苦情はなく満足が多数。	A	アンケート結果では利用者の満足度が高い。
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	目立った苦情は無し。対応マニュアルは整備されている。	B	マニュアル整備により苦情対応を職員間で共有している。
財務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	節約を心掛けながらも来館者が熱中症にならないよう館内温度を調整した。	B	光熱水費は前年度比増。利用者の滞在時間の長さや夜間の利用によるもの。
業務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書に定める事項を遵守した。	B	仕様書に定める事項を遵守している。
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	職員数減少のため計画どおり実施できなかった。	B	職員退職による不可避な事由のため概ね達成している。
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	12回実施した。	B	仕様書どおり訓練を毎月実施している。
人材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	職員全員が積極的に研修に参加した。	B	職員全員が研修に参加することにより、資質向上に努めている。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した。	B	労働関係法令の遵守に努めている。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

平成29年度と比べ、平成30年度は来館人数が7,000人程増えている。乳幼児親子の来館が多かった。乳幼児向けの行事「Oちゃんデー」や「ぴよんぴよんきっず」の行事の参加も多く、日々の来館にも繋がったのだと思う。今年度は猛暑だった為、館内の扉を外し窓を閉め、体育遊戯室にクーラーがない為、扇風機で涼しい空気が循環するよう工夫し過ごした。その為か猛暑であったが、具合の悪くなった子はいなかった。年々、北地区(旧新潟市)の乳幼児親子はもとより、小学生の来館も増えている。全小学校児童に、毎月の行事予定をお知らせする児童センターだよりを配布している為、児童センターを知り、来館のきっかけになっていると思う。来年も沢山の子どもたちが来館できるよう、工夫していきたい。

所管課による総合評価(所見)

来館者の乳幼児や出身地域など属性を把握のうえ行事を工夫することにより、実際に来館者の増加につながっている。体育遊戯室に冷房が無く設備面で制約があるなか、来館者のことを第一に考え運営を工夫している。また、施設の基本理念を踏まえ、北区全域への周知に努めることにより、北区全域からの来館につながっている。また、各行事において地域社会と協力連携しながら、社会的活動の拠点としての機能向上を図っている。以上の点より、施設の設置目的を概ね達成しているものと評価できる。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	早通児童センター		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区早通37番地1		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積約500㎡、延床面積336.88㎡ 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容） <ul style="list-style-type: none">・ 集会室（44.50㎡）・ 図書室（38.70㎡）・ 体育遊戯室（145.76㎡）・ 事務室（18.45㎡） ほか		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1) 地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。 (2) 児童がいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、児童に健全な遊びや情報の提供を行う。

平成30年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。	・年間利用者数 19,924人 (うち児童数) 10,741人	A	年間利用者は前年度比増。
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	46回実施	B	毎週、地域との連携事業を実施(年間23団体)。
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	苦情はなく満足していた	A	アンケート結果では利用者の満足度が高い。
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	目立った苦情なし。対応マニュアルは整備されている。	B	マニュアル整備により苦情対応を職員間で共有している。
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	電気代は増加。ガス・水道代は減少。	B	館内を支障のない範囲で間引き点灯し節電に努めている。
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書に定める事項を遵守した。	B	仕様書に定める事項を遵守している。
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	確実に実施した。	B	事業計画どおり事業を実施している。
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	計12回実施した。	B	仕様書どおり訓練を毎月実施している。
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	20回延べ20人参加	B	職員全員が研修に参加することにより、資質向上に努めている。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した。	B	労働関係法令の遵守に努めている。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

北区の児童館、児童センターと情報共有を図り、円滑に事業を行なうことができた。地域や機関との連携協力をいただき、児童は様々な経験をすることができた。利用者にとって家庭と学校以外の安心して過ごせる安全な施設として利用していただいている。また、避難所となっているので緊急時に対応できるよう利用者と共に訓練を行ったり、避難所開設の準備も進めている。今年度は地域の方々のおかげで館外の草刈り、畑、花壇の整備、児童の遊びの関わり等にも積極的に参加していただき、地域力が向上してきたと感じている。また、子育て支援にも力を入れていて、乳幼児来館が増えてきている。子育て中の親子が孤立しないよう、不安などを受け止められるよう援助していきたい。地域の方が集い、児童が安心して過ごせる居場所になるよう研修等で職員のスキルアップも図りたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

乳幼児を対象とする行事を充実させ、参加者を着実に増やしている。また、地域及び関係機関との連携を通じ、地域の子育て拠点としての機能向上を図っている。以上の点より、施設の設置目的を概ね達成しているものと評価できる。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	葛塚東児童館		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区太田甲5762番地1		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積1367.53㎡ 延床面積353.89㎡ 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容） ・ 集会室（60.35㎡） ・ 図書室（43.02㎡） ・ 遊戯室（118.15㎡） ・ 事務室（19.73㎡） ほか		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
（１）地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。 （２）児童がいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、児童に健全な遊びや情報の提供を行う。

平成30年度

視点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。	・年間利用者数 13,848人 (うち児童数) 8,645人	A	年間利用者は前年度比増。
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	60回実施	B	多数の団体と連携事業を実施(年間27団体)。
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	苦情なし。満足していた。	A	アンケート結果では利用者の満足度が高い。
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	目立った苦情なし。対応マニュアルは整備されている。	B	マニュアル整備により苦情対応を職員間で共有している。
財務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	電気代増	B	冷暖房、照明の調節をこまめに行い節電に努めている。
業務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書に定める事項を遵守した。	B	仕様書に定める事項を遵守している。
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	確実に実施した。	B	事業計画どおり事業を実施している。
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	13回実施	B	仕様書どおり訓練を毎月実施している。
人材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	12回延べ15人参加	B	職員全員が研修に参加することにより、資質向上に努めている。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した。	B	労働関係法令の遵守に努めている。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

母親の育児相談対応やBP講座の実施により未就学児親子の遊び場としても少しずつ認知され、来館増につながった。低学年児童の利用が主の為、施設内での安全はもちろん、行き帰りの交通安全にも留意し声掛け見守りを行っている。事業実施については、ニーズの把握・内容の充実に努め、参加者の高い満足度を得ている。地域とのつながりを絶やさぬよう日頃から努力し、伝統行事での児童との交流や施設整備で協力していただいている。

所管課による総合評価(所見)

乳幼児を対象とする行事において広報を充実させた結果、来館者増につながっている。また、地域及び関係機関との連携を通じ、地域の子育て拠点としての機能向上を図っている。以上の点より、施設の設置目的を概ね達成しているものと評価できる。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	三ツ森児童館		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区高森429番地		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積454.28㎡ 延床面積235.67㎡ 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容） <ul style="list-style-type: none">・ 児童クラブ室（38.88㎡）・ 図書室（20.25㎡）・ 遊戯室（95.58㎡）・ 事務室（20.25㎡） ほか		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1) 地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。 (2) 児童がいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、児童に健全な遊びや情報の提供を行う。

平成30年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。	・年間利用者数 13,550人 (うち児童数) 8,389人	B	年間利用者は前年度比242人減だが、概ね達成している。
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	地域と関わり開催した事業 54回	B	多数の団体と連携事業を実施(年間36団体)。
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	苦情はなく、満足していた。活動内容に満足していた。	A	アンケート結果では利用者の満足度が高い。
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	苦情無し。対応マニュアルは整備されている。	B	マニュアル整備により苦情対応を職員間で共有している。
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	光熱費が増加した。	B	冷暖房、照明の調節をこまめに行い節電に努めている。
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書に定める事項を遵守した。	B	仕様書に定める事項を遵守している。
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	確実に実施した。	B	事業計画どおり事業を実施している。
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	非常災害対策計画策定。訓練計13回実施。	B	仕様書どおり訓練を毎月実施している。
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	29回延べ35人受講した。うち内部研修2回8名受講	B	職員全員が研修に参加することにより、資質向上に努めている。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した。	B	労働関係法令の遵守に努めている。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄 (アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

BP講座を6月に開催。受講した親子がつながり育休明けまで児童館の行事に参加。乳幼児親子の「楽しい子育て」が出来るようにママのリフレッシュ事業(リトミック講座、ベビーヨガ、ママらんち会、パステルアート講座)を開催した。親子延べ129名が参加。乳幼児の来館数が241名増加。親子同士の関係性も深まった。日々、光熱費の削減に努めたが、猛暑の為使用量は増加。地域の人達の協力をもらいながら児童館運営をし、さまざまな行事を実施出来た。子どもをより理解する為に職員の内部研修を2回実施。子どもの発達や成長と遊びを考え、積極的に研修に参加して資質向上に努めた。浸水想定区域、土砂災害警戒区域、津波浸水想定内に所在する為、非常災害時の計画を策定した。毎月、避難訓練を実施して児童の避難意識を高めている。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

乳幼児を対象とする行事を充実させ、参加者を着実に増やしている。また、地域及び関係機関との連携を通じ、地域の子育て拠点としての機能向上を図っている。以上の点より、施設の設置目的を概ね達成しているものと評価できる。